

学年		5 年			6 年		
学期		1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期
単元		人物のかかわり合いを読み、感想を書こう	作品を自分なりにとらえ、朗読しよう	物語を読んで、自分の考えをまとめよう	自分の体験と重ねて読み、感想を書こう	作品の世界を深く味わおう	物語を読んで、考えを深めよう
教材名		「のどがかわいた」	「大造じいさんとガン」	「わらぐつの中の神様」	「カレーライス」	「やまなし」	「海の命」
ねらい		登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえて、作品についての自分の考えをもち、それを発表し合って広げたり深めたりすることができる。	自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をするとともに、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめるとともに、それを発表し合い、広げたり深めたりすることができる。	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめることができる。	場面についての描写をとらえ、作品の中の表現や優れた叙述について自分の考えをまとめたり、賢治の他の作品を並行読書して作者の考え方や思いについても考え合う。	登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。
単元を貫く言語活動		感想を書く	作品を自分なりにとらえて朗読する	同じ作者の作品を比べて読み、選んだ作品の一番の魅力を紹介すること	「カレーライス」の感想交流会をしよう	宮澤賢治の作品を読んで「やまなし」の紹介文をかこう	「海の命」の読書座談会をしよう
5つの言語意識	相手	学級の人みんなに	学級の人みんなに	学級の人みんなに	学級の人みんなに	学級の人みんなに(保護者に)	学級の人みんなに(全校に)
	目的	物語から読み取ったことと、それに対する感想を伝えるために	自分の思いや考えが伝わるように	人物の心情や情景を豊かに想像し、作品に対する自分の考えを伝えるために	場面の様子や登場人物の様子がわかるように	作者の考え方や生き方を伝えるために	人物どうしの関係をとらえ、人物の生き方について自分の考えを伝えるために
	場面	3段落構成で感想を書く場で	朗読発表会で	「本のショーウィンドウ」で	感想交流会で	授業参観日で	読書座談会で
	方法	人との関わり合いについて、読みとったことを生かして、自分の経験を思い浮かべて	読み取った場面の様子や登場人物の心情を自分がどうとらえ、どう表現するかを考えて	他の作品と読み比べることで、物語の特色、おもしろさを見つけ	登場人物の言動や心情、登場人物の相互関係を生かして	2つの場面「五月」と「十二月」の情景の対比したり、他の作品を読んだりすることを通して、	登場場面の相互関係や心情、場面についての描写をとらえたものを生かして
	評価	読み取ったことと、感想を分けて書いているか	「大造じいさん」の心情の変化、人物像で、自分の読み取ったことを朗読をしているか	額縁構造、謎解きのようなおもしろさなど作品の特色をとらえて紹介しているか	自分の体験と重ねて読み、感想を書いているか	作者の生き方や考え方を踏まえたやまなしの紹介文を書いて紹介しているか	登場場面の相互関係や心情、場面についての描写をとらえたものを生かして自分の考えをまとめて伝えているか
段落		意味段落3	意味段落5	意味段落3	意味段落3	意味段落2	意味段落6
文章構成		はじめー中ー終わり	「前書き」と「本文」 「本文」は4つのまとまり	現在ー過去ー現在	はじめ・中・終わりを意識して書く	五月と十二月の二つの場面の対比、比喩表現や登場人物の会話などから違いを見つけ、作者の考え方	主人公の見方、考え方や人物どうしの関係が大きく変わるところ
学ばせたいこと	読むこと	○登場人物の関係の深まり ○登場人物の心情の変化	○登場人物の心情の移り変わり ○情景描写や心情表現、行動を表す言葉や文に着目し、人物像を読み取る	○物語の構成 ○物語の特色をとらえる ○人物像を会話や行動からつかみ、人物の関わり合い、関係の深まりを読む	○登場人物の言動とぼくの心情 お父さん、お母さんの言動とぼくの言動や気持ちを対比して、ぼくの視点から心情を考えたり、想像したりする ○感想をまとめる 印象に残った場面や出来事を例にあげ、そのときのぼくの心情を経験も取り入れて書く	○表現を対比し、その情景を想像しながら読む 五月の場面、十二月の場面の擬声語、擬態語、比喩、色彩表現などを対比して、その情景を想像する ○他の作品を並行読書し、作者の生き方、考え方から、題名「やまなし」にした理由を読み取る 「やまなし」の作品について紹介文をかいて交流する	○登場人物が、「太一」の成長にどんな役割をしたのか、順を追って読む 「父」「与吉じいさ」「母」と「太一」の大きなかわり「太一」の考え方が大きく変わったところ ○人物の生き方について考えをまとめる 「父」「与吉じいさ」「太一」のそれぞれの生き方について考える ○自分の読んだ本と友だちの読んだ本を比べてグループごとに読書座談会をする
	用語	人物像	朗読・情景描写	構成・人物像・表現	登場人物・心情・地の文・語り手・読者・共感	比喩・擬態語・擬声語・対比・情景・意図	登場人物・主人公・読者・山場
関連教材		「三つのお願い」4下 「百年後のふるさとを守る」5年	「白いぼうし」4上 「のどがかわいた」5年 「せんねん まんねん」6年	「のどがかわいた」5年 「大造じいさんとガン」5年 「海の命」6年	「のどがかわいた」5年 「やまなし」6年 「海の命」6年	「大造じいさんとガン」5年 「わらぐつの中の神様」5年 「海の命」6年	「のどがかわいた」5年 「場面展開や人物の描写に注意して作品を読み登場人物の心情の移り変わりとらえる」中1年
意識させるキーワード		人物像・中心人物・対人物・関係の変化・事実と感想、意見	朗読・情景・優れた表現	人物像・構成・表現	地の文・視点・中心人物・心情・語り手「共感できるか」	対比・ 情景・ 考え方・生き方・読者 命・平和	中心人物・生き方・命
筋道を立てて説明する		描かれていた人物の関わり合いから、自分が考えたこと、その理由を説明できる。	どこが、なぜ好きか、その場面の特色や自分の感じ方を表すためにどんな読み方をするかを説明できる。	「構成」「人物像」「表現」などの観点から、他の作品との共通点や相違点を考え、説明できる。	登場人物どうしの関わり合いと心情の変化をとらえ、誰の視点で書かれているか、自分の考えや体験なども入れて説明する。	作者の思いを読み取るために、複数の本や文章を比べて読み、自分の考えことを説明する。	登場人物どうしの会話や行動から、登場人物の考え方や生き方をとらえ、本文の叙述から根拠を挙げ自分の考えを説明する。
その他		並行読書をするため短編集を紹介する 「しずく的首飾り」「ヴァン・ゴッホ・カフェ」 「きみに贈る つばさ物語」「春ものがたり」「イヌのヒロシ」	並行読書をするため、椋鳩十作品と動物をかいた作品を紹介する 「片耳の大シカ」「月の輪グマ」 「鹿よ おれの兄弟よ」「河合雅雄の動物記」	並行読書をするため、杉みき子作品を紹介する 「かくまきの歌」「小さな雪の町物語」 「小さな町の風景」	並行読書をする 「クローディアの)秘密」「スウィート・メモリーズ」「ふるさとは、夏」など	宮沢賢治の作品を並行読書する 「グスコードブリの伝記」「北守将軍と三人の医者」「銀河鉄道の夜」「ゼロ弾きのゴーシュ」「よだかの星」など	立松和平の「いのちシリーズ」の作品を並行読書する 「山のいのち」「川のいのち」「田んぼのいのち」「牧場のいのち」「木のいのち」「街のいのち」など